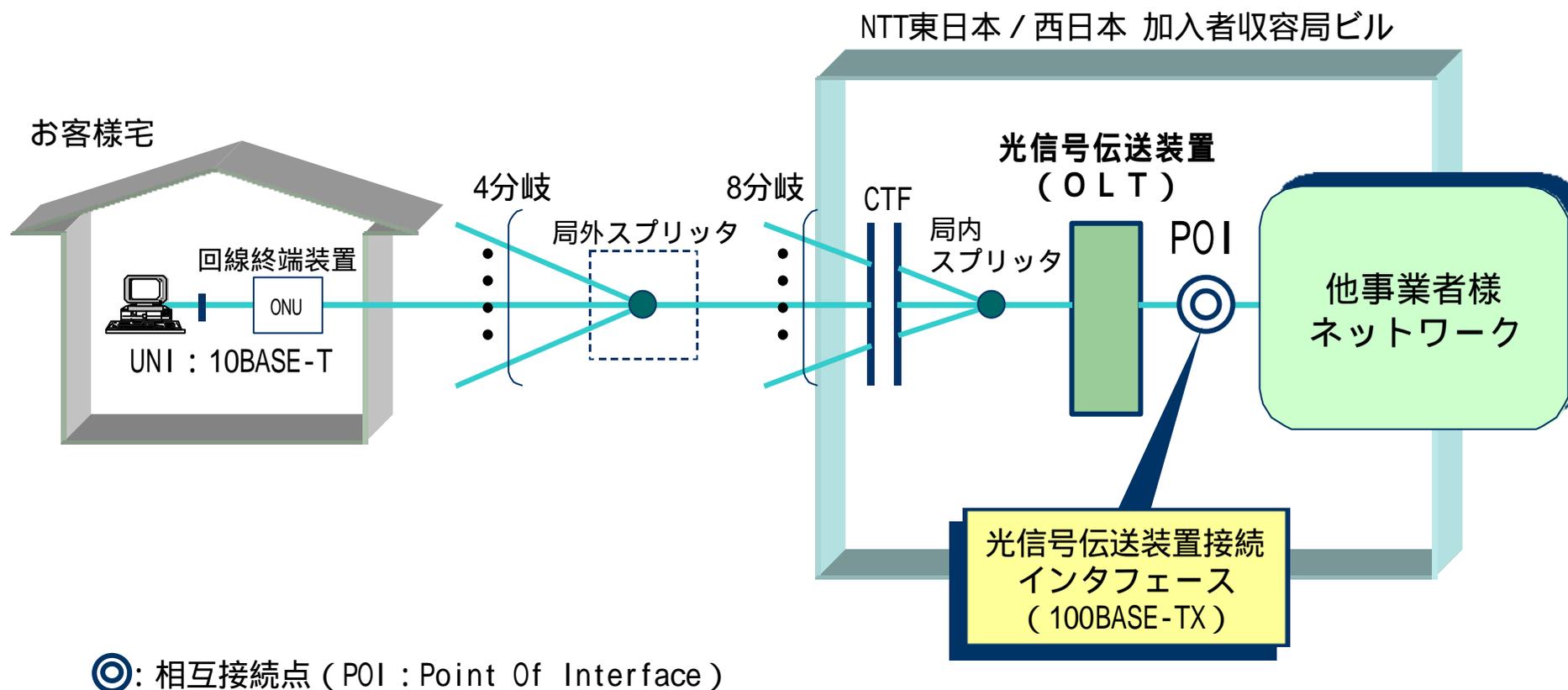


端末回線伝送機能(加入者光ファイバを使用する  
最大10Mb/sのシェアリング方式)のインタフェース  
(光信号伝送装置接続インタフェース)条件につ  
いて

2001年7月26日  
東日本電信電話株式会社  
西日本電信電話株式会社

# 1. インタフェースの概要

「光信号伝送装置接続インタフェース」は、最大10Mb/sのシェアードアクセス方式を利用する光アクセスラインの収容局接続メニューと接続するためのインタフェースです。



## 2 . インタフェース条件

「光信号伝送装置接続インタフェース」で規定する範囲は、物理層からデータリンク層までとなります。

レイヤ種別	参照規格
データリンク層 (レイヤ2)	IEEE 802.3 (MAC) IEEE 802.1Q (VLAN)
物理層 (レイヤ1)	IEEE 802.3 (100BASE-TX) ISO/IEC 8877 (コネクタ仕様) ISO/IEC 11801(ケーブル仕様)

## 2.1 物理層【レイヤ1】仕様

物理層【レイヤ1】仕様は、IEEE 802.3 Clause24及びClause25 (100BASE-TX) を適用します。

主な項目	規 格
通信モード	full duplex
ケーブル仕様	ISO/IEC 11801 EIA/TIA-568A CAT5 準拠
コネクタ仕様	ISO/IEC 8877 準拠

## 2.2 データリンク層【レイヤ2】仕様（1/2）

データリンク層【レイヤ2】仕様は、IEEE 802.3 Clause3及びClause4を適用します。なお、輻輳制御としてはIEEE 802.3 Annex31Bに準拠したpauseオペレーションを適用します。

### フレーム構成

フレーム構成は、IEEE 802.1Q Clause9に準拠したタグ付フレームとし、タグ・ヘッダのフォーマットにはEthernet-encoded tag headerを適用します。

プリアンブル	SFD	宛先 アドレス	送信元 アドレス	VLANタグ	長さ/ タイプ	LLCデータ	PAD	FCS
--------	-----	------------	-------------	--------	------------	--------	-----	-----

### 宛先アドレス

NTT東西の光信号伝送装置（OLT）から他事業者様のネットワークへ送信されるフレームの宛先アドレス（Destination Address）は、個別アドレス（Individual Address）または以下に示すグループアドレス（Group Address）とします。

宛先アドレス	タイプ
0xFFFFFFFFFFFF	0x0806（ARP）
0xFFFFFFFFFFFF	0x8863（PPPoE）

## 2.2 データリンク層【レイヤ2】仕様（2 / 2）

---

Tag Control Information (TCI) format

Tag Control Information (TCI) formatは以下のとおりです。

User_priority (3bit)	CFI (1bit)	VID (12bit)
-------------------------	---------------	----------------

user\_priorityフィールド及びCFIフィールドの値は“0”とします。

VIDフィールドにおける設定可能な値の範囲は“512～1023”とします。（\*1）

（\*1）VID値については、ONU単位に1つの値が付与され、OLTの1ポートに収容される全てのONU間で重複することなく設定されます。なお、VID数の上限値及びVID値については、光信号伝送装置のポート毎にNTT東西が指定します。